

令和2年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

片山中学校区 校番17 学校名 呉市立荘山田小学校

a 学校教育目標	新たな創造への挑戦 ～かしこく やさしく たくましく～	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション> (学校の使命) 地域と協働し、主体的に学び、ふるさとを愛する心豊かでたくましい児童を育成する。 <ビジョン> (将来の学校像) 「活気ある安心・安全な学校」「家庭・地域から信頼される学校」「教える・かかわりきる学校」
----------	--------------------------------	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	令和元年度は、「学びの木」を活用した授業スタイルを確立し、授業改善を行った。また、生活目標の達成や、地域に役立つことをしようとする児童の育成を目指した。そして、自らの生活を振り返らせ規則正しい生活を意識付けるとともに、「投げる」力を伸ばすための取組を充実させた。どの取組も一定の効果が見られた。そこで、今年度は、更なる向上を目指すため、基礎学力の定着と思考力・判断力・表現力の育成を目指すとともに、礼儀・規範意識を身に付け、郷土を愛する児童の育成を目指す。また、基本的な生活習慣の定着を図り、走力の向上を目指す。業務改善においては、児童と向き合う時間の確保と長時間勤務の削減に努める。
------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	知識・技能 思考力・判断力・表現力 協働的な態度
-------------	--------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3年目)						自己評価						
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期			
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価	
*** 確かな学び	主体的に学ぶ児童の育成	基礎学力の定着	積み上げタイムや放課後学習会を計画的に行い、基礎的内容の定着を図る。	国語・算数科単元末テスト平均80点以上の学年の割合 標準学力テストの全国平均を上回る学年の割合	100%	100%	100%	A				
		思考力・判断力・表現力の育成	「学び合い」を充実させた考える授業づくりを行う。	授業評価表による肯定的評価の割合	80%							
** 豊かな心	規範意識を身に付け、ふるさとを愛する児童の育成	礼儀・規範意識を身に付けた児童の育成	廊下の右側歩行を徹底させる。	廊下を走らなかつた連続日数	20日	0日	0%	D				
		ふるさとを愛する児童の育成	系統的な地域の学習を継続し、地域の方々との交流を通して、地域のよさに気付かせる。	荘山田の好きなところを挙げる	10種類	10種類	100%	A				
* 健やかな体	心身ともに健康な生活を主体的に構築できる児童の育成	望ましい基本的な生活習慣の確立	生活を振り返り、自ら規則正しい生活を送る意識を持たせる。(生活リズムアンケートの活用)	決められた時刻までに寝る児童の割合	90%	86%	95%	B				
		課題意識を持ち、体力を向上させる児童の育成	体育科の授業や休憩時間に、様々な運動(主に走る運動)を取り入れる。	50m走の記録の4月当初との比較	低学年0.4秒 中・高学年0.2秒アップ							

業務改善	教職員が意欲と能力を発揮できる教育環境の整備	児童と向き合う時間の確保	業務改善を行い、児童と向き合う時間を作る。	児童と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合	80%	73%	91%	B			
		長時間勤務の削減	定時退校日を設定し、長時間勤務の抑制を図る。	時間外勤務が月45時間を超えない教職員の割合	85%	86%	101%	A			

【k:評価】
 A: 100 ≤ (目標達成) B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
 C: 60 ≤ (もう少し) < 80 D: (できていない) < 60